



南台には今日も夢の行灯が灯る

酒処

夢

## 居酒屋 夢あかり



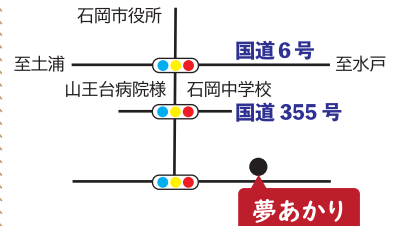
石岡市南台にある素敵な居酒屋を尋ねました！夢あかりさんはサラリーマン出身のマスターが平成8年にオープン、今年で28年になります。老舗ですね。老舗ならではの居心地の良い店内と、気さくなマスターが迎えてくれます。お勧めメニューは唐揚げ、弓豚を用いた肉料理などですが、私が今回頂いた中ではもちもちしたジャガイモの揚げ物「もちポテ」、お刺身、アスパラベーコンが特に美味しかったです！家族連れでももちろん大丈夫なお店ですが、つつい長居してしまう雰囲気と美味しいお酒と料理を目当てに今日もサラリーマンは通ってしまうのでしょうか（笑）閑静な住宅街に今日も僕たちを優しくを照らす夢の行灯が灯ります。



セイコーマート隣

### 夢あかり

石岡市南台 2-15-4  
電話：0299-26-8020  
定休日：日曜日  
営業時間：17～24時



## 今を切りとる 社長エッセイ

### 「夏の風物詩」

今年も暑い夏になりそうです。その時節は昔から様々な風習を生み出して参りました。その中の一つが「盆踊り」。コロナの影響でここ数年中止されていましたが今年は全面復活するようです。因に先月のニュースでも東京中野で中野サンプラザ閉館を機にギネス記録（参加人数）に挑戦する盆踊りイベントも行われました。学生時代を中野で過ごした私も移り変わる時代の流れを感じながら注目して参りましたが結果的に僅か6人、差で記録更新は成らなかったものの、何となく昭和の昔懐かしい風の香りを嗅いだ気がしました。



空也上人

これが広がりを見せたのが鎌倉時代。時宗の開祖である「一遍上人」や同行の尼僧達が披露した踊り念仏は、衣服がはたけのほど激しく踊り狂い、庶民を巻き込むほどに大流行。その後室町時代には華やかな衣装と笛太鼓で踊る「風流踊り」。更に江戸時代には農村部を中心に盆踊りが盛んになり日本三大盆踊りと言われる「郡上おどり」や「阿波おどり」もこの頃から親しまれるようになったそうです。

明治になり娯楽として「憂さ晴らし」「男女の出合いの場」へと姿を変えましたが、大正時代には伝統文化が復活し、新民俗が誕生。昭和の戦時下では軍国歌謡が中心の暗黒時代を経て高度経済成長期には「都市型」に。「東京五輪音頭」など復興がテーマとなりました。数々の災害に見舞われた平成では「人と地域を結び直す」地域コミュニティの役割を担う存在として現在に至っております。

今年も「石岡市民盆踊り」が会社前イベント広場で開催されます。これまでの景品提供だけでなく、ちょっと覗いてみようかと考えております。



石岡市民盆踊りの様子

# 夏エアコン 大特価!

FUJITSU nocria  
AS-AH280K

10畳用

先着  
限定 5名様

88,000円 (税別)

標準工事費込み

## あれ、エアコンが効かない!

6月になり、暑さも湿気も夏ですね!  
エアコンがちゃんと動くことは熱中症対策でも  
あります。いざ使おうと思ったら・・・  
なんてことが無いように、動作確認してみましょう!



**快適**

2WAY除湿  
(ソフトクール・ひかえめ)  
季節や好みに合わせた  
2つの除湿モードでいつ  
でも心地よいお部屋に。

**便利**

24時間  
プログラムタイマー  
24時間以内のオン  
・オフが同時設定可能。  
生活リズムに合わせて  
快適に。  
\*繰り返し設定はできません。

夏本番の設置工事は非常に混み合います。

お早めにお申込み、お問合せください。

☎ 0120-41-2680



Google マップより。  
隣接した施設だと分かる

## ふるさと紀行

### 『常陸國總社宮例大祭』 2

当たり前の話だが、石岡のおまつりは常陸國總社宮の例大祭だ。では總社宮とはいったいどんな神社なのか。まず常陸国とはいわゆる「律令国」と呼ばれ、約8世紀に成立した「国」の一つ。他に武蔵国、尾張国などがあるが、常陸国は大国。しかもその長官は親王が就くことになっていた。格式の高い国なのである。

一方の「総社」は読んで字の如しで、複数の社を集めた神社のこと。全国に同様の総社があり、国衙近くにあることが多い。国の長官たる国司は現在で言えばちょうど県知事のようなもの。様々な役目があったであろうが、何より重んじられたのが国内の神々への「まつり」だった。しかし、驚くべきことに現在、茨城県には2千を超える神社があると言う。そのため、全ての神社の「まつり」を国司が自ら行うのはなかなか厳しい。

そこで国司が務める役所に、国内の神社を合祀した神社、「総社」が造営され、そこで祈りを捧げるようになった。つまり常陸國總社宮とは常陸国の神々を国衙近くに祀った神社ということ。石岡市は、茨城県内のあらゆる神々に守られたパワースポットだとも言える。

現在、「神幸祭」と呼ばれる神賑行事の初日には全町の幌獅子が国衙跡に集まる。大神輿の行列に供奉するための。神職の祓いを受け、出発前に国衙跡である石岡小学校のグラウンドから鎮守のウンドに対して拝礼する。これを「幌獅子總揃(ほろじし そうぞろえ)」と呼ぶそう。源義経や織田信長が、騎馬を集めて行った「馬揃」が思い出される。

幌獅子や山車の巡行は町内ごとにルートが組まれるが、必ず参加するのが神様にお伴をする供奉行列。神々の御霊(みたま)が、一年に一度、街中にお出ましになるのだから、これを丁寧に送りしなければならぬ。総代を始めとした氏子各町の役員、獅子に関わる人、神職など合わせるとざっと総勢は二千人にも及ぶという。8世紀の国司が現代の祭りを見たならば、この盛大さにはきっと仰天するだろう。



幌獅子總揃の様子

## イチ推し!

効果実証!  
興味ある方はお問合せください

☎ 0120-41-2680



## 「モスキートマグネット」 LPガスの燃焼で蚊を誘因。

お客様から感謝の声を頂きました!  
市内某神社では拝殿周りに蚊が多く、落ち着いて参拝できなかったそう。本機を6月に設置後、蚊のライフサイクルを超えて捕獲しまくったところ、なんと7月には拝殿周りで蚊に刺される事がほぼ無くなったそうです!